

2019年度 第1回 生乳検査外部精度管理調査結果（速報）

【乳成分】

- 「標準値」は全参加施設の測定値にスミルノフ・グラブス検定を実施し、データクリーニングした後の平均値とした。^{注)}
注) 期日までに報告のあったデータより算出した。
- 「標準法測定値（参考値）」は公益財団法人日本乳業技術協会が以下の方法にて測定した。

乳脂肪分	ゲルベル法	全乳固形分	常圧乾燥法
たんぱく質分	ケルダール法	無脂乳固形分	全乳固形分－乳脂肪分
乳糖分	レイン・エイノン法		
- 「乳技協FT1測定値（参考値）」は基本検量線“MILK”に対し、平成31年4月の校正乳を使用して新規に校正した検量線を用いて測定した。

(%)

区 分	試料	乳脂肪分	たんぱく質分	乳糖分	全乳固形分	無脂乳固形分
標準値	1	3.94	3.46	4.57	12.92	8.98
	2	4.01	3.33	4.59	12.90	8.89
	3	3.47	3.24	4.53	12.20	8.72
標準法 測定値 (参考値)	1	3.92	3.49	4.60	12.94	9.02
	2	3.98	3.34	4.62	12.87	8.89
	3	3.48	3.25	4.59	12.25	8.77
乳技協 FT1測定値 (参考値)	1	3.91	3.45	4.59	12.89	8.98
	2	3.99	3.32	4.63	12.86	8.89
	3	3.45	3.25	4.56	12.20	8.73

【体細胞数】

- 「平均値」は、全集計値から乖離値（平均値±σ以上）を除いた測定値の平均値とした。
- 「標準値」は、精度管理マニュアル検討委員会の決定に基づき、4台のマスターマシン（フォソマチック）による測定値の平均値とした。

(単位：10³/ml)

区 分	試料A	試料B
平均値	212	340
標準値	210	330

※生乳検査精度管理認証制度の標準値について

認証の標準値は、結果報告書発送後（5月31日頃）次のURLに掲載予定です。

<http://www.jdta.or.jp/seido3.html#3>

(本資料のお問い合わせ先: 太田 TEL03-3264-1921)